Our ties is forever
つなぐ
Our ties will be more strong

【校訓】やさしくかしこくすこやかに

天草市立久玉小学校　学校通信
編集代表：校長　大川 隆嗣
毎日更新HP：http://higo.ed.jp/kutamaes/

通信もホームページでは、カラーです。見てくださいね！拡大確認も可能です！

平成２８年１２月１３日

28

人権について考えました

12月は人権月間でした。各学年、発達段階に応じて、人権について学習しました。すべてのクラスの学級通信が、「人権」に関する記事でした。なかなか他のクラスの通信を見る機会もないだろうと思い、すべて掲載します。紙面の都合上、大きさ、明るさともに読めるか読めないかの微妙な境目ですが、よろしくお願いします。

学級での人権学習もしっかりがんばりました。また先週は、ベナンからのお客さまもありました。物怖じせずにコミュニケーションを図ることができる、これも正しい人権感覚だと思います。

そして、バスケ部の最後の大会、小体連大会は県大会でも好成績を修めた強豪校との対戦でした。点を取られてもあきらめずに、ボールに向かっていく子どもたちの姿に、これまでの日々の練習で、「勝利以上に大切なもの」を身につけたんじゃないかなあ、とうれしくなりました。世の中、うまくいかないことの方が多いと思います。それでもがんばり続ける心、これもまた人権感覚だと思います。

ご家庭でしっかりおさらいをすることでより正しい人権感覚が身につきます。励ましをお願いします。

人権集会をしました！！

人権集会が、６日にありました。６年生は、５年生と一緒に集会を開き学習して学んだことの感想を発表しました。その後「壁をこえて」というハンセン病に関するDVDの視聴を行いました。水俣病やハンセン病問題は、県の人権問題の大きな課題でもあります。熊本に住む人間として、正しい認識をもち行動できる人間に育って欲しいと思っています。実際子どもたちの感想を読むと差別の不合理さはよく分かっているようです。しかし、実際自分たちの生活に置き換えると、ちょっと気になる発言も耳にすることがあります。子どもたちには、自分を大切にして欲しければ友だちも大切にしないと大切にしてはもらえないと言っていますが・・・。６年生といえどもまだまだ独りよがりなところがあります。だが、振り返りそれを反省している姿は、アンケートの結果などからも分かります。子どもたちも試行錯誤しながらも、少しずつ成長しているのですね。

みんなの絆　こころがぽかぽか！

今週火曜日に１年生と合同で人権集会をしました。２年生の人権学習では、「やめなさいよ！」を学習していました。この学習で学んだことは、いやな思いをしている人を助けること、仲く意⾒の違いで⾔い争いが起こることでした。人権集会の前日に、人権集会に向けてのお話をしました。その中では、話しを真剣に聞く姿があり、人権集会でも真剣に取り組むことを話し合いました。発表の練習も集中して行うことができました。

人権集会では、最初に各学年の人権学習の発表でした。発表は、２年生全員が発表します。練習する時間は少なかったのですが、この日は集中していました。大きな声でしっかりと学習した事を言うことができ、また自分の人権のめあてを言うことができました。１年生の発表を聞く態度もよく、しっかりと話を聞いていました。

次の「ほめことばのシャワー」ではグループを作り、それぞれに褒め言葉を言い合いました。最初は恥ずかしがっていた人も、自分が褒められると笑顔になり、友だちにも笑顔で言うことができるようになりました。心もぽかぽかになりすっかり全員が笑顔でした。温かい言葉が友だちも笑顔にすることを感じるができていました。

最後に全員で、「じゃんけん列車」をしました。全員が笑顔で取り組むことができ、とても盛り上がりました。

人権学習を通して、友だちと一緒にいる楽しさを感じる事ができたようです。これからももっと友だちを大切にしていき、２年生が元気に学校生活を送れるようにしたいと思っています。

最後にみんなで握手をして、お別れしました。みんなが笑顔でできていて、私の心もぽかぽかになりました！

教室はドラマだ！

人権集会

人権集会が毎年行われます。差別やいじめのことをみんなで考え、さらに自分の生活を振り返り、自分のこれからの生活についてしっかり考えていく時間だと思います。

人権集会

1　はじめの言葉（３年）
2　読み聞かせ「気持ちの本」
3　各学年発表
　３年「こんぴらさんのすもう」
　４年　自立宣言
　～解放子ども会の立ち上がり～
4　仲良くなるためのゲーム
　もうじゅう狩り
　○○さんのとなり
5　歌「友だちになった日」
6　おわりの言葉（４年）

子ども達は、前日に人権学習をしました。４年生は、自立宣言～解放子ども会の立ち上がり～と言う資料を基に学習していきました。

「部落差別」と言う言葉を初めて聞き、この「部落差別」がどのようなものかを知りました。そして、考えていったのです。

このことをもとに、４年生の発表となりました。また、「仲良くなるためのゲーム」では、３年生とも一緒のグループになり、お話をしたり、笑ったりしました。その後の感想です。

人権集会を終えて、人権集会で学んだことは、みんな差別をするときずつく、そして、差別をすると相手がいやな気持ちになる、そして、学校に来なくなると考えました。こんぴらさんのすもうでは、横村のんたは、すもうも見たらだめ、そして、何もしていないのに袋だたきにされている。それは、ぼくたちと同じで部落差別です。そして、ぼくたちも差別をしていました。勉強したから、差別をしないようにしていきます。

先生が「気持ちの本」を読んでくれたように、人には、どんな気持ちも大切だと言うことです。たとえば、おこった気持ちやうれしい気持ち、さびしい気持ち、いろんな気持ちがあります。それも、たった１秒の言葉で、いやな気持ちになったり、うれしい気持ちになるのです。だから、ぼくは、これから、悪口を言わないようにします。いろんなことを考えていくことが大事です。そして、これからの自分がすることを宣言していると思います。応援しています。

大切なのは人を思いやる気持ち！

８日（火）の業間から３時間目にかけて人権集会が行われました。１１月から人権月間の取り組みを行っており、　さんは１・２年生の低学年に混ざって人権学習の発表やレクリエーションに参加しました。レクリエーションでは、「貨物列車」を行いじゃんけんや握手をして楽しむことができました。

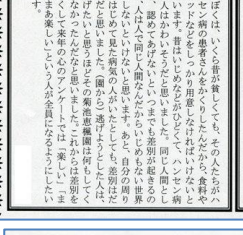
「人権」という言葉を理解することは難しいですが、「ふわふわ言葉」のように相手を思いやる気持ちの大切さは理解できたのではないでしょうか。　は、時に泣いている友達やうつむいている友達を心配する仕草をします。「大丈夫？」などの心配する言葉を友達になげかけることはできませんが、　なりの心配の合図なのだと思います。これから様々な人に出会って、そういった優しい気持ちを育てていってほしいと思います。

人権集会がありました。

１２月６日（火）に人権集会が行われました。低・中・高学年で分かれ、これまでの人権学習で学んだことを発表し合ったり、学習のまとめをしたりしました。中学年では、人権学習で学んだことを発表し合いました。　３年生に向けて、自分の感想をはっきりと伝えることができました。また、外遊先生の絵本の読み聞かせや、３年生と合同でおこなったレクリエーションなど、真面目に取り組むことができ、学習したことをいかすことができている、と感じました。高学年はハンセン病についての学習をしました。「難しかったけど、差別は絶対にダメということが分かった」と感想を聞かせてくれました。人権学習で学んだことを生活にいかし、更に心を成長させていってほしいなと思います。また、日々の生活の中で、人権についてしっかりと考えていきたいと思います。

人権集会

６日（火）、低・中・高に分かれて人権集会を行いました。高学年はそれぞれの学年で人権月間に学習したことの感想を発表した後、ハンセン病についてのビデオを見ました。５年生は、ハンセン病について学習するのは初めてで、ほとんどの児童が「ハンセン病」という言葉を聞いたことがないということでした。このビデオで「ハンセン病」についての正しい知識を得ることができたことだと思います。後は、人権学習を通して、それぞれに感じたことを生活で実践できるかどうかだと思います。思ったこと、考えたことを行動に移すことができる子どもたちになってほしいと願っています。



ぼくは、いくら昔が終わっても、その人たちがハンセン病の患者さんをかくしたんだから、食料やベッドなどをしっかり用意しなければいけないと思います。昔はいじめるだけだって、ハンセン病の人に対して、同じ人間とは認めてあげなかったというまでもなく、同じ人間とは認めてあげなかったというまでもなく、同じ人間とは認めてあげなかったというまでもなく